



平成 28 年 9 月 29 日

各 位

西日本シティ銀行

## 産学連携支援

## 第 11 回「ビジネス創造交流会」の開催について

## ～最先端の研究シーズをビジネスニーズに橋渡し～

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、平成 26 年 3 月に締結した九州大学との産学連携協定に基づき、平成 26 年 10 月より「ビジネス創造交流会」を開催しています。今回、第 11 回の開催概要が決まりましたので、お知らせします

この交流会は、最先端の大学技術シーズと地元企業の事業者ニーズを結び付ける機会を提供し、産学連携を通じた企業の事業力強化と大学の学術研究の活性化につなげることが目的です。

なお、この交流会は今後も 2～3 ヶ月毎の定例開催を予定しています。

## 記

## ■ 概要

日 時	平成 28 年 11 月 4 日（金）16：00～18：00（受付開始 15：30）
会 場	NCB リサーチ&コンサルティング セミナー室 （福岡市博多区下川端町 2 番 1 号 博多座西銀ビル 13 階 TEL092-282-2662）
テ ー マ 発 表 者	■ テーマ：メタボロミクスが拓く成分プロファイリングの世界 ■ 発表者：九州大学生体防御医学研究所 教授 馬場 健史 氏
プログラム	① 16：00～16：05 主催者挨拶 ② 16：05～17：00 講演&討議 ③ 17：00～18：00 交流会（質疑応答、懇談会）
主 催	西日本シティ銀行、九州大学、NCB リサーチ&コンサルティング
定 員	30 名程度 ～事前申込みが必要です～（応募多数の場合は抽選）
参 加 費	無 料
対 象 者	本テーマに関して、自社単独では研究開発等が困難な事業者の方で、九州大学との共同研究・委託研究等にも関心があるお客さま（当行取引の有無は問いません）
申込方法	①氏名、②会社名、部署・役職名、③電話番号、④メールアドレスを明記の上、10月28日（金）までに FAX、e-mail にて下記申込先へ直接お申し込みください。（制定の申込み用紙はありません。） お申込先 九州大学 学術研究・産学官連携本部 企画グループ <F A X> 092-832-2195 <e-mail> business@airimaq.kyushu-u.ac.jp

以 上

本件に関するお問い合わせ先  
地域振興部 古川 TEL092-476-2743

# 第11回ビジネス創造交流会のご案内

九州大学と西日本シティ銀行及びNCBリサーチ&コンサルティング共催の「第11回ビジネス創造交流会」を下記のとおり開催いたします。

この会では九州大学やその他大学、研究機関の研究内容や研究成果を地元の企業様に解り易く解説し、セミナー後の懇談会では研究者と参加者で自由闊達な懇談を行っていただく時間を用意しております。

テーマは毎回異なった学術分野から事業化されやすいものを選択し、原則、隔月の開催を予定しております。

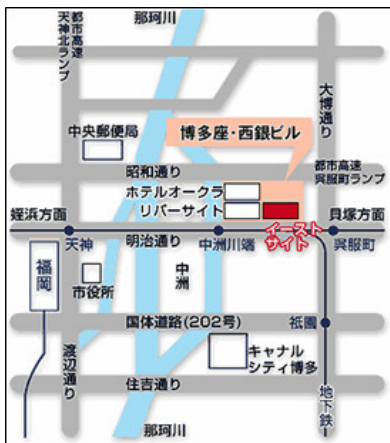
新規事業の開拓や業務の課題解決の参考にしていただけますよう、奮ってご参加ください。

## 日時

平成28年11月4日（金） 16：00～18：00  
（受付開始 15：30～）

## 場所

㈱NCBリサーチ&コンサルティング セミナー室  
（博多座・西銀ビル13階）  
〒812-0027 福岡市博多区下川端町2-1



## 参加申込

参加ご希望の方は、次の必要事項をご記入の上、メールまたはFAXでお申し込み下さい。（書式は自由）

- ①氏名
- ②会社名・部署・役職名
- ③電話番号
- ④メールアドレス

定員：30名（締切：10月28日、応募者多数の場合抽選）

参加費：無料

申込み先

九州大学 学術研究・産学官連携本部 松尾 宛

Mail： [business@airimaq.kyushu-u.ac.jp](mailto:business@airimaq.kyushu-u.ac.jp)

FAX： 092-832-2195

## プログラム

### 1. 16：00～17：00 講演

テーマ

「メタボロミクスが拓く成分プロファイリングの世界」

講師：九州大学生体防御医学研究所

教授 馬場 健史（ばんば たけし）

<対象業種>各種メーカー（食品、健康食品、医薬品、化粧品、化学品等）、各種検査機関、その他

<講演概要>

テレビや雑誌などで良く目にする「メタボ」という言葉については良くご存じの方が多いと思いますが、「メタボロミクス」という言葉は、はじめての方が多いのではないかと思います。10年ほど前に新しい学問分野として提唱され、医療、創薬、農業、食品、環境など様々な分野で注目されている代謝物（成分）解析の技術です。最近の分析機器の進歩に伴い、これまでの単独や数種類を対象とした分析ではなく、計れるものすべてを対象とした網羅的な分析が行われるようになってきました。対象とするもの全体、すなわち総体を表す言葉として「ome、オーム」がつけられ、オーム解析、すなわち、網羅的な解析を意味する言葉として「omics、オミクス」が作られました。代謝物 (meabolite) + omeからメタボローム (metabolome)、metabolome + omicsでメタボロミクス (metabolomics) です。上記の説明で、いわゆる「メタボ」であるメタボリックシンドロームと違うものであることは十分ご理解いただけたと思いますが、この「メタボロミクス」が実質的に何を目的として、何の役に立つのかについて、本講演において実例を示しながら全くご存じない方にもできるだけわかりやすく説明したいと思います。

### 2. 17：00～18：00 質疑応答、懇談会

ファシリテーター：九州大学 学術研究・産学官連携本部  
アドバイザー 若林 宗男

## 問い合わせ先

九州大学 学術研究・産学官連携本部 松尾 TEL：092-832-2126  
西日本シティ銀行 地域振興部 古川 TEL：092-476-2743